

# 平成23年度青少年健全育成茨城県推進大会

本格的な人口減少社会の到来、高度情報化の急速な進展、地域住民の連帯感の希薄化や家庭・家族の孤立化など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、それらに伴いコミュニケーション能力の低下や体験不足、地域の教育力の低下など様々な問題が生じてきています。

このため、青少年を支える大人、とりわけ親が自らの生き方を省み、姿勢を正して、社会の基本的なルールやマナーを身をもって実践し、よき手本を青少年に示すとともに、青少年が持つ育つ力を引き出し、自立した青少年の成長を支援することが必要です。

そこで、青少年育成関係者と子育て中の親等が一堂に会し、家庭、学校、地域社会が相互に連携しながら青少年健全育成活動のさらなる発展を図るため、推進大会を開催しました。

## 大会概要

- 主催** 茨城県・(社)青少年育成茨城県民会議・青少年育成市町村民会議
- 日時** 平成24年2月3日(金) 10:00~15:00
- 場所** 常陸太田市民交流センター「パルティホール」大ホール
- 参加者** 青少年育成関係者 PTA・学校・保育所・幼稚園関係者 青少年育成地域活動団体 県・市町村関係者 一般県民等 約1,000人
- 内容** ○中学生の主張発表  
○実践活動発表  
○講演

## 中学生の主張発表

平成23年度少年の主張茨城県大会(平成23年10月1日開催)において、茨城県知事賞、茨城県議会議長賞を受賞した中学生2名が発表しました。

それぞれの発表が聴衆に共感と感動を与えました。

### ■茨城県知事賞

「共に生きよう」

筑西市立下館南中学校3年

佐藤 花菜



### ■茨城県議会議長賞

「命あってこそ」

水戸市立第二中学校1年

池 愛里



講

演

わが子を「メシが食える大人」に育てるには  
花まる学習会代表 高濱 正伸氏

高濱正伸氏は、作文・読書・思考力・野外体験を重視した学習塾「花まる学習会」を設立するなど、子ども達の「生き抜く力」に重点を置いた独自の指導方法が注目を集めている。



学生時代から予備校等で受験生を指導する中で、学力の伸び悩み、人間関係での挫折とひきこもり傾向などの諸問題が、幼児期・児童期の環境と体験に基づいていることを確信。幼児期・児童期の子育てや親が心がけるべきこと、さらには、思春期の心や働く意欲をどう引き出すかなど、親のあり方について示唆を与える話があり、聴衆に大変好評であった。

## 活動助成金贈呈

青少年健全育成県民運動推進のために、ライオンズクラブ国際協会333-E地区(地区ガバナー平田岩根氏)から(社)青少年育成茨城県民会議に多額の活動助成金の贈呈がありました。

贈呈式では、大竹伸一第一副地区ガバナーから石津博康青少年育成茨城県民会議会長に贈呈されました。

(ライオンズクラブ国際協会333-E地区は、茨城県内のライオンズクラブの連合組織)

